

## マタイの福音書 第23章 37節

「ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。」

平和の君が愛しむ都を臨み嘆かれます。平和とは真逆な様相をなし、人心が乱れ、戦乱が止まない都に成り果てています。都の名を繰り返し呼び、しかし、その都が主より遣わされた者たちを、残酷無比な仕打ちで貶めます。愛する都が残虐行為に走ります。愛するがゆえに深まる嘆きです。ああ、とはからずも嘆き声もれます。

愛のゆえに突き刺さる、引き裂かれ痛む嘆きです。それでも、親鳥が雛を翼の下に集めようとしています。それだから、平和の君が御翼の下に集め、戦争する者たちを平和に導こうとします。命の奪い合いから、命を守り豊かに活かす道へと導こうとします。君との平和を与えられ、互いの間にもたらされる平和に生きるよう導こうとします。それなのに、人々は好まない。平和の君を都の外で木に吊るし上げてしまいます。

それだから、ああ、と嘆きの御声を聞かなくてはなりません。繰り返し呼ばれる名を聞かなくてはなりません。